

保証とアフターサービスについて

1.保証について

- この製品には保証書がついています。
- 保証書はお買い上げ日や販売店（据付工事店）名などの所定事項の記入を確かめて、販売店よりお受け取り、大切に保存してください。
- 保証内容及び保証期間は、保証書に記載してあります。

2.補修用性能部品の保有期間

- この製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後10年間保有しています。
（補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です）

3.修理を依頼されるときは

取扱説明書（本書）の「故障かなと思ったら」にしたがって調べてください。
それでも直らない場合には、まずお買い上げの販売店（据付工事店）へご相談ください。
お買い上げの販売店（据付工事店）が不明、または連絡がとれない場合は、ユノカコールセンターへご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定にしたがって、修理をいたします。その際は保証書をご提示ください。
- 保証期間がすぎているときは
修理によって性能を維持できる場合には、ご希望により有料修理をさせていただきます。
- 修理料金は
技術料+部品代+出張料などで構成されています。
- ご連絡いただきたい内容は
故障の状況（できるだけ具体的に）・品番・お買い上げ日・ご住所・お名前・電話番号・訪問希望日。
※品番は、本体の銘板に記載されています。

ユノカコールセンター 電話受付:365日24時間

0120-911-365 **（無料）**

急でもいい 365日
(スタッフによる対応時間) 9:00~20:00/月~金曜日
9:00~17:00/土日・祝日・弊社指定休日
(上記の時間帯以外は留守番電話による対応となります)

お問合せ窓口における個人情報のお取り扱いについて

- 当社は、お客さまからご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
- ①お問合せ（ご依頼）の対応並びに製品・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
 - ②上記利用の目的のために、お問合せ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
 - ③あらかじめお客さまからご了解いただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供、開示することはありません。
 - a. 修理・保守・工事のために、当社グループ会社、協力会社などに業務委託する場合
 - b. 法令等の定められた規定に基づく場合
 - ④個人情報に関するご相談は、お問合せいただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検	★長年ご使用の温水器の点検を！ ●この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。	
	こんな症状はありませんか ●こげ臭い ●設置場所が濡れている。 ●お湯が早くなる。 ●漏電しゃ断器が「切」になる。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中 止 このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故防止のために、漏電しゃ断器を切り、止水栓を閉じてから、必ず販売店（据付工事店）に点検・修理（有料）を依頼してください。



■営業部 〒811-3216 福岡県福津市花見が浜2丁目1番1号
TEL (0940) 34-3252 FAX (0940) 34-3253

取扱説明書

自然冷媒CO₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機 給湯専用タイプ

- 季時別電灯（通電制御型）
- 時間帯別電灯（通電制御型）
- ピークシフト電灯（通電制御型）



高圧力型

<input type="checkbox"/>	システム品番	YU37NJH-SE01 (タンク容量:370L)
	貯湯ユニット品番	YTS37NB15
	ヒートポンプユニット品番	YHD45N13
<input type="checkbox"/>	システム品番	YU46NJH-SE02 (タンク容量:460L)
	貯湯ユニット品番	YTS46NB15
	ヒートポンプユニット品番	YHD60N13

- お買い上げいただいた給湯機の品番チェック欄『□』にチェックし、修理等のお問い合わせの際にご利用ください。

このたびは、ユノカエコキュートをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、ただしくお使いください。そのあとは、必要ときにいつでもお読みになれるよう大切に保管してください。

- 保証書は「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめて、販売店（据付工事店）からお受け取りください。
- この給湯機は『季時別電灯契約』、『時間帯別電灯契約』、『ピークシフト電灯契約』専用です。『深夜電力B契約』ではご使用になれません。

ユノカエコキュート

Yunoka

もくじ

はじめに	
安全上のご注意	1
ご使用にあたってのお願い	4
各部のなまえとはたらき	5
はじめてお使いになるとき	
準備	9
空気抜き運転をする	10
日時を合わせる	11
上手にお使いいただくために	
お湯をたくさん使う（沸き増し）	12
最低貯湯量を設定する（自動沸き増し）	13
給湯機の沸き上げ設定を設定する	14
給湯温度を設定する	15
ピークカット設定をする	16
深夜のみを設定する	17
タイマーをつかう	18
おしえてナビ	19
●おしえてナビ（操作方法）	20
●おしえてナビ（表示内容）	21
こんなとき	
ある期間給湯機の運転を休止するとき	22
長期間使用しないとき	23
凍結防止をする	24
点検とお手入れ	25
定期点検のおすすめ（有料）	27
故障かなと思ったら	28
仕様	32
保証とアフターサービスについて	裏表紙



安全上のご注意 必ずお守りください






ご使用の前にこの欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。


■誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

 禁止	 アース線接続
 分解禁止	 指示にしたがう
 接触禁止	


警告

 **熱湯や熱くなる部分に触れない**
やけど注意

やけどの原因となります。

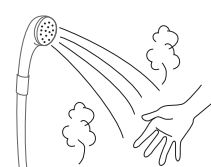
- 給湯時は湯水混合栓に触れない
- 排水時はお湯に触れない
- ヒートポンプ配管や給湯配管に触れない
- 逃し弁点検時は配管に触れない (→26ページ)




 **お湯を使用するときは、お湯の温度を確かめる**
確認

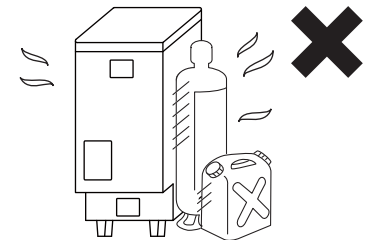
やけどの原因となります。


- 入浴時やシャワーなどお湯を使用するときはお湯の温度を確かめる
- 給湯温度の変更は、他の蛇口の使用状況を確認してから行なう (→15ページ)



 **近くにガス類や引火物を置かない**
禁止


発火により、火災になることがあります。



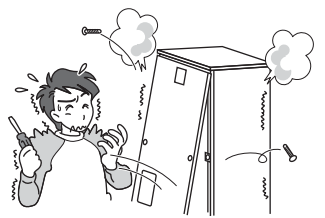
 **誤った取扱いをしない**
禁止

けがの原因となります。特にお子様にはご注意ください

- ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンに触れない
- ヒートポンプユニットの空気吸入口や吹出口に棒や手を入れない
- 上に乗ったり、物を載せたりしない (ベランダなど高い場所に設置している場合は、落下や転倒により思わぬ事故を起こすことがあります。)

 **貯湯ユニットの前面カバーやヒートポンプユニットのカバーを開けない**
禁止

やけど、けが、感電の原因となります。




 **分解・改造・修理をしない**
分解禁止

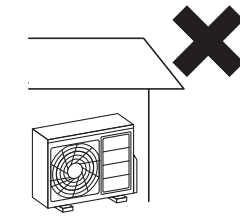
やけど、けが、感電、火災の原因となります。修理技術者以外の方は修理しないでください。修理は販売店(据付工事店)へお問合せください。




警告

 **ヒートポンプユニットを屋内に設置しない**
禁止

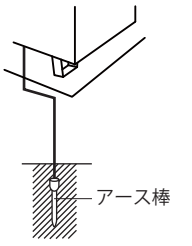
万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故(脳障害など)に至ることがあります。




 **アース工事を確認する**
アース工事

故障や漏電のときに感電することがあります。

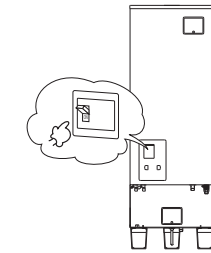
アースの取付は、販売店(据付工事店)へお問合せください。




 **漏電しゃ断器の動作を確認する (→25ページ)**
アース工事

故障や漏電のときに感電することがあります。


動作しないときは、販売店(据付工事店)へお問合せください。



 **異常時は、漏電しゃ断器を「切」にして直ちに使用を中止する**
確認

異常のまま使用すると故障、感電、火災、けがの原因となります。
<異常例>
●こげ臭い
●設置場所が濡れている
●漏電しゃ断器が「切」になる
●お湯が早くなる
●その他の異常や故障がある
お買い上げの販売店(据付工事店)へお問合せください。

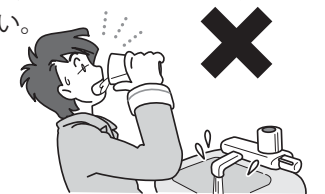
注意

 **そのまま飲用しない**
禁止

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水質基準に適合した水を使用する
- 熱いお湯が出てくるまでの水は、雑用水として使用する

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行なってください。




 **タンクのお湯を直接排水しない**
禁止

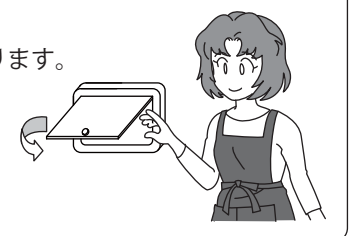
やけどすることがあります。排水管など、配管を破損することがあります。

タンクを水にしてから排水してください。



 **逃し弁点検窓、操作カバーは閉じる**
確認

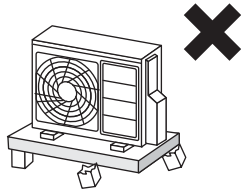
雨水やごみが入り、漏電や感電することがあります。



⚠ 注意

禁止 ヒートポンプユニットの架台が破損したまま使用しない

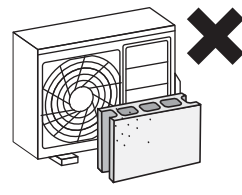
落下、転倒により、けがをすることがあります。



禁止 ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

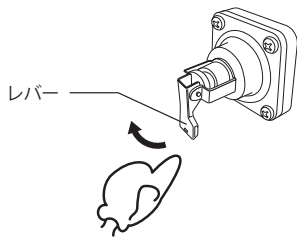
性能の低下や故障の原因となります。

積雪時は、除雪してください。



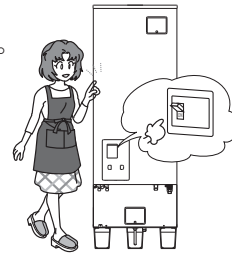
! 逃し弁の点検をする (→26ページ)
点検

タンクや配管が破損したり、逃し弁の水漏れによりやけどすることがあります。



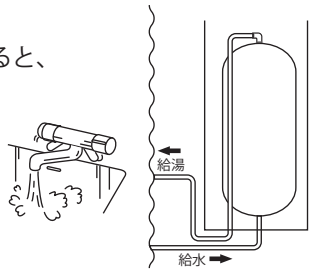
! 1か月以上使用しないときは、電源を「切」にして、タンクの排水をする (→23ページ)
確認

水質が変化することがあります。



! 通電はタンクを満水にしてから行なう (→9ページ)
確認

満水にしないまま通電すると、故障の原因となります。



禁止 配管、電気配線に無理な力を加えない

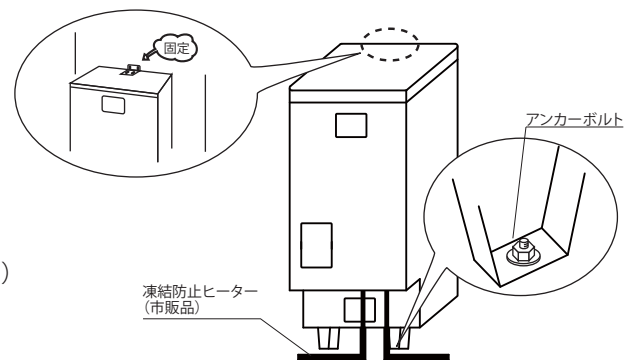
破損により、やけど、けが、感電、火災の原因となります。



! 据付けを確認する
確認

- 2階以上に据付けた場合、上部振れ止め金具が壁に固定されているか確認する (本体が転倒し、けがをすることがあります)
- 脚 (3箇所) がアンカーボルトで固定されているか確認する (転倒により、本体が倒れてけがをすることがあります)
- 凍結防止対策を確認する (→24ページ) (タンクや配管が破損したり、水漏れによりやけどすることがあります。)
- 床面が防水・排水処理されているか、据付工事店に確認する (水漏れが起きたときに大きな損害につながる可能性があります)

お買い上げの販売店 (据付工事店) へお問合せください。



ご使用にあたってのお願い

電力契約種別を確認する

この商品は、「季時別電灯」または「時間帯別電灯」契約専用の給湯機です。ご使用の電力契約種別を販売店 (据付工事店) または最寄りの電力会社に、ご確認ください。

季時別電灯?

ピークシフト電灯?

時間帯別電灯?



※深夜電力B契約ではご使用いただけません。

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。 (→11ページ)

まず時間を合わせるのね



時刻がずれていると、タンク内を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割高になります。

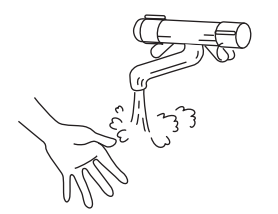
お湯の上手な使い方

●シャワーは必要なときだけ

●流し洗いはぬるめの温度で



1日に使用できるお湯の量は限りがあります
お湯は大切に使うね



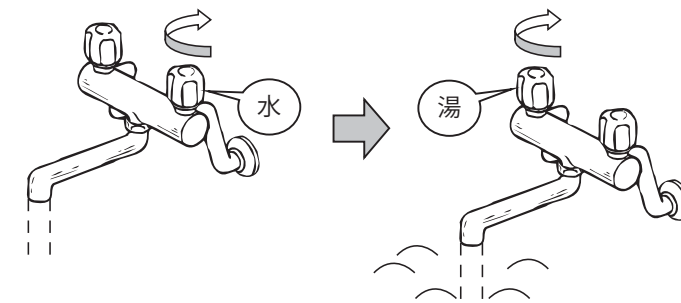
お湯の使い方についてのお願い

湯水混合栓からお湯を出すときは、必ず水を出しながらお湯を出してください。 (やけどをしたり、洗面器などが破損することがあります)

2バルブタイプの場合

①水側を開ける

②吐水しながら、湯側を開けて温度を調節する

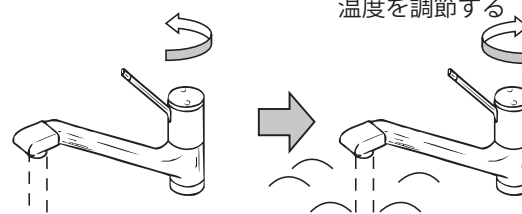


2バルブタイプの湯水混合栓を使用した後は、必ず湯側を先に閉める。 (再度、湯水混合栓を使用する際にお湯が出て、やけどをすることがあります)

シングルレバータイプの場合

①レバーを水側にまわしてから開ける

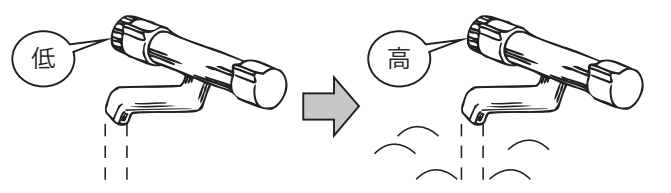
②吐水しながら、レバーを湯側に回し、温度を調節する



サーモスタットタイプの場合

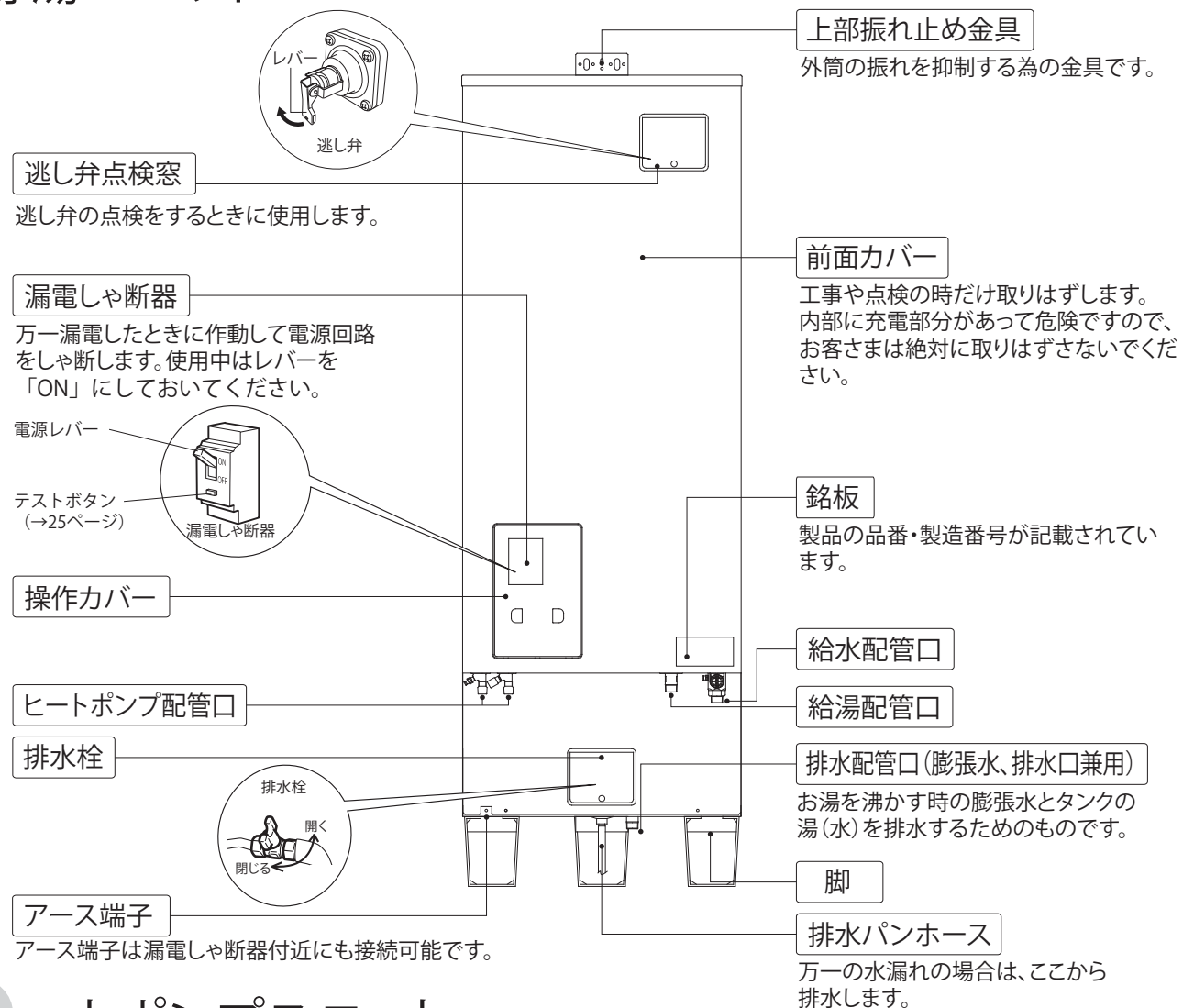
①温度調整つまみを「低」にしてから給湯つまみを開ける

②吐水しながら、温度調節つまみを「高」に回し、温度を調節する

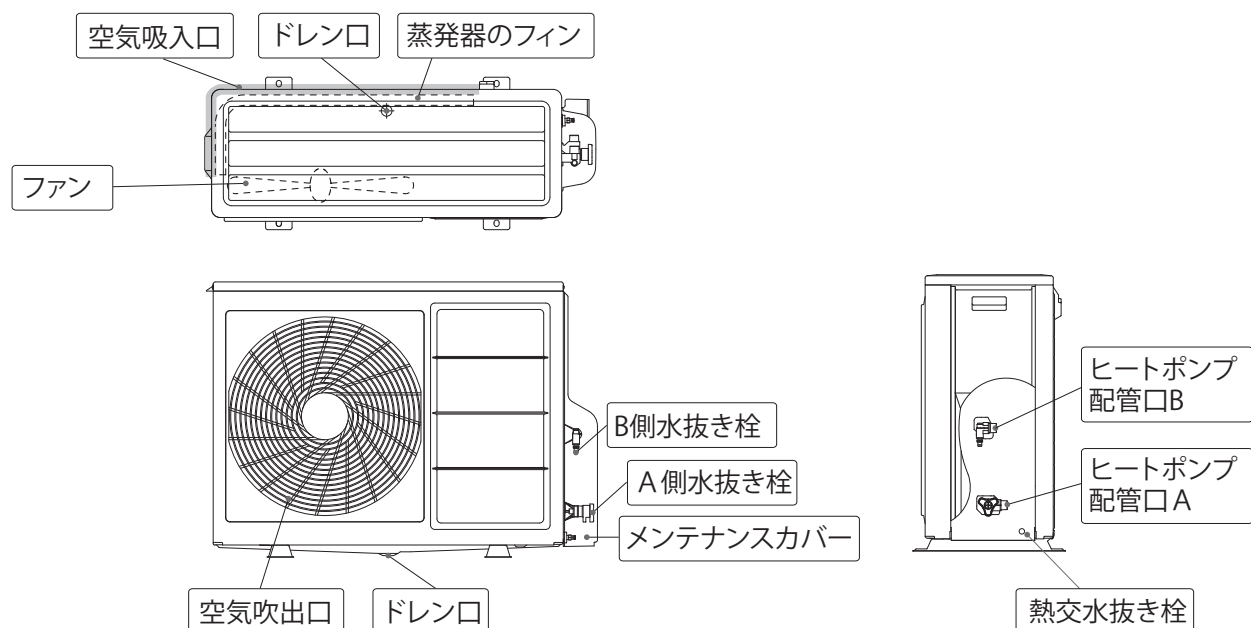


各部のなまえとはたらき

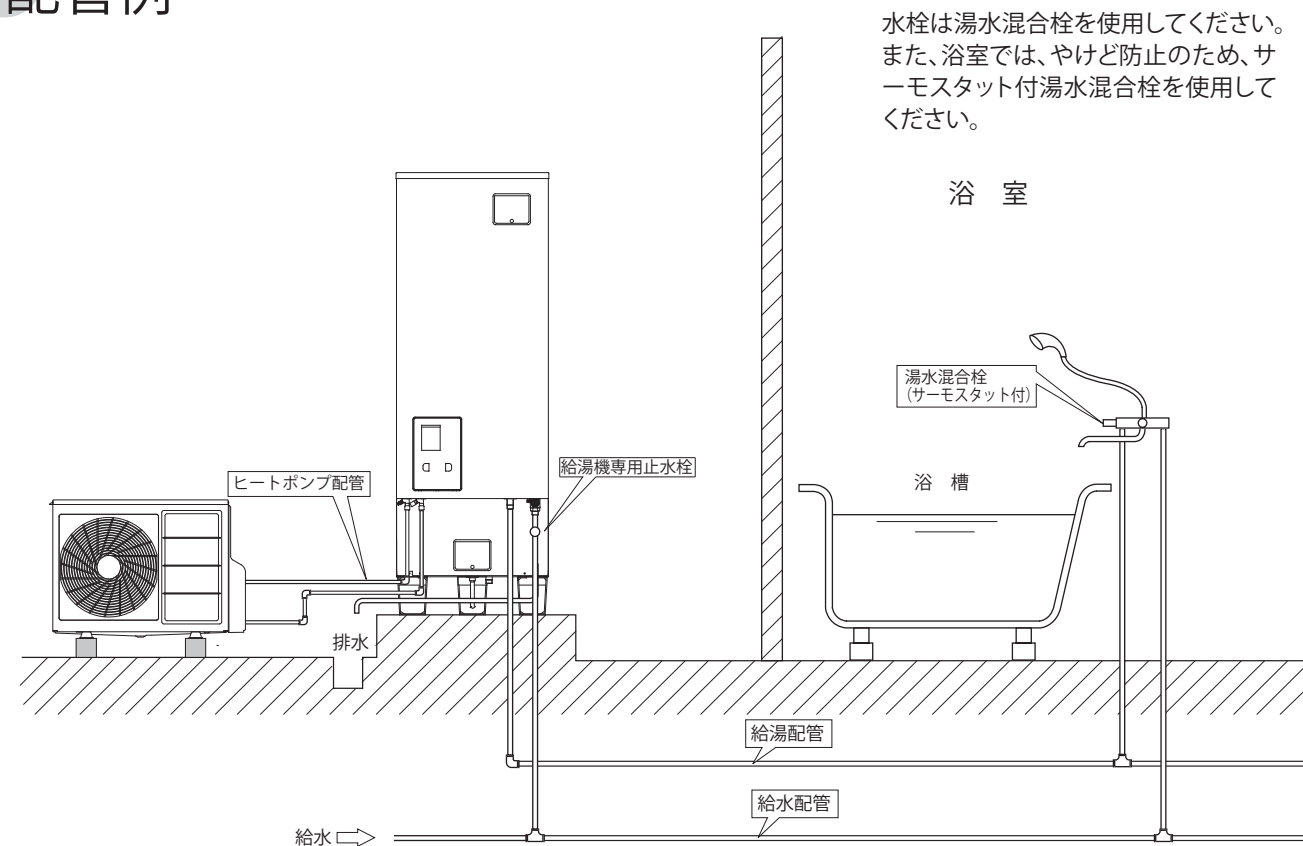
貯湯ユニット



ヒートポンプユニット



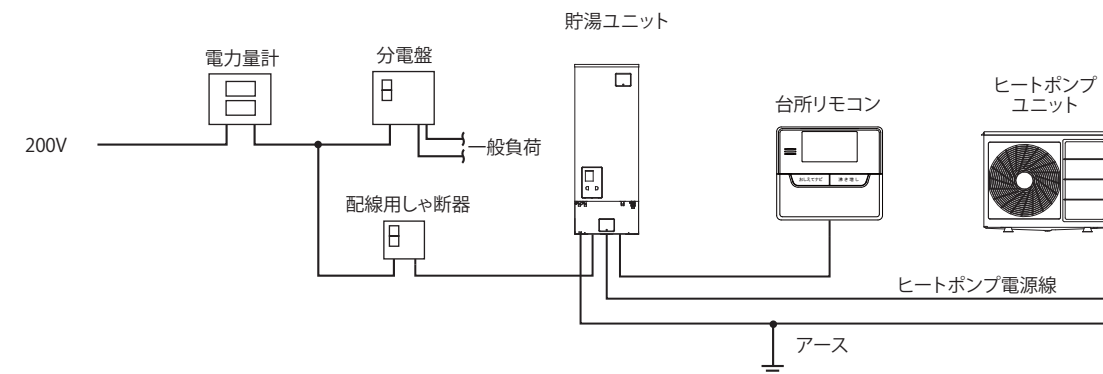
配管例



配線例

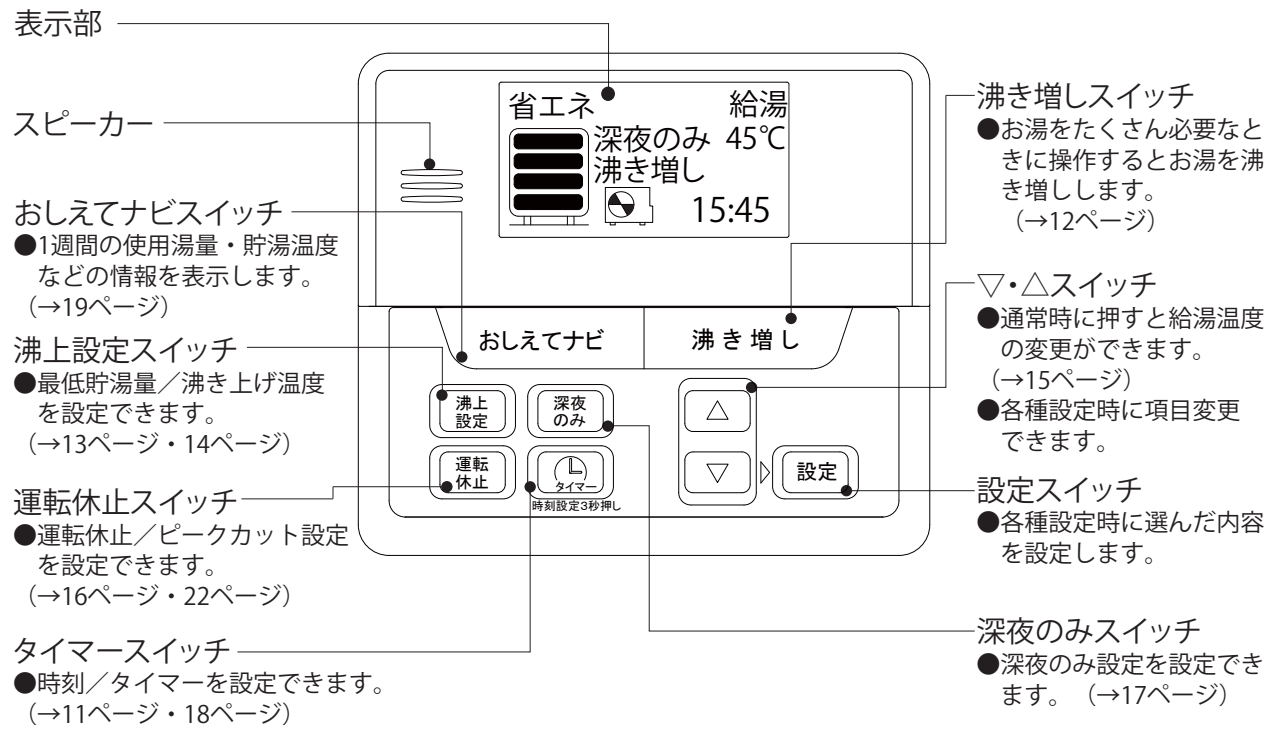
※配線は、電力契約で異なります。電力契約については、販売店(据付工事店)にご確認ください。

■「季時別電灯/時間帯別電灯/ピークシフト電灯」(通電制御型)

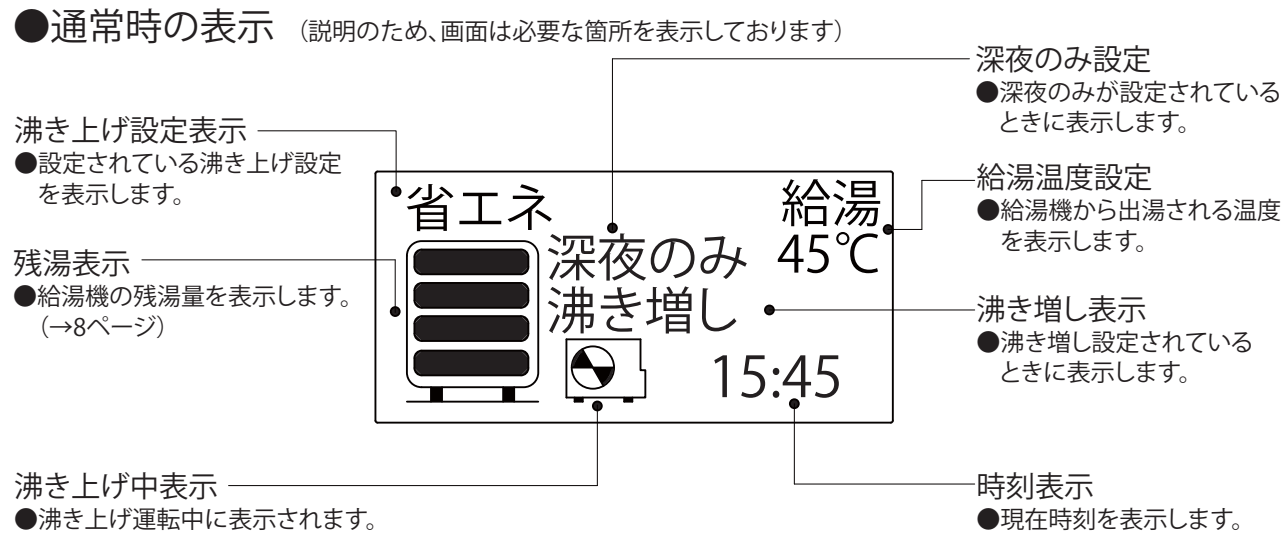


各部のなまえとはたらき

台所リモコン



台所リモコン表示部



残湯量表示

給湯機の残湯量の目安をリモコンに表示します



残湯量	残湯量 (目安)
(点滅)	約30L未満 (バックライト点滅) 警告音あり
(点滅)	約50L未満 (バックライト点滅) 警告音あり
(点灯)	約50L以上
	約100L以上
	約150L以上
	約200L以上

お知らせ

- 残湯表示は、48℃以上のお湯の量を段階的に示しています。
- 湯はりなどで大量にお湯を使用されるときは、使用される前に残湯量の確認を行なってください。残湯量が不足しそうなときは、「沸き増し」を利用してください。
- 外泊などによって1日以上お湯を使用されなかったときは、貯えられたお湯の温度が低下し、早めに残湯表示が減少することがあります。

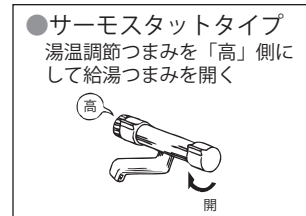
お願い 台所リモコンは、防水タイプではありません。水をかけないでください。故障の原因になります。

準備

使い始めは、次の手順で操作します。
販売店（据付工事店）が準備作業を実施されているときは、必要ありません。

1. 給湯機のタンクを満水にする

- ① 給湯機の排水栓を閉じる（→5ページ）
- ② 逃し弁のレバーを上げる（→5ページ）
- ③ 給湯機専用止水栓を開く（→6ページ）
タンクが満水になると排水口から水が出ます。
満水になるまでの目安の時間は約30分～40分です。
（タンク容量や水圧により多少異なります。）
- ④ 満水になったら、逃し弁のレバーを下げる（→5ページ）
満水になったら、しばらく流し洗いをし、逃し弁のレバーを下げます。
- ⑤ 給湯つまみ（レバー）を開いて、水が出ることを確認する
操作方法は湯水混合栓のタイプによって異なります。



2. ヒートポンプユニットの空気を抜く

- ① ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーをはずす
- ② ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開き、空気を抜く（→5ページ）
※2分以上、十分に空気が抜けるまで行なってください。
- ③ ヒートポンプユニットのB側水抜き栓を開き、空気を抜く（→5ページ）
※A側水抜き栓を開かないでください。
- ④ 空気抜き作業を終えたら水抜き栓を全て閉じる
- ⑤ ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーを取り付ける

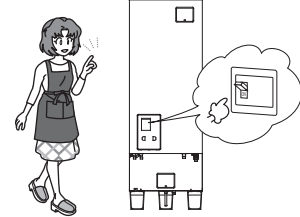


3. 給湯機の電源を入れる

- ① 配線用しゃ断器を「ON」にする
- ② 貯湯ユニットの操作カバーをあけ、漏電しゃ断器の電源レバーを「ON」にする



注意
通電はタンクを満水にしてから行なってください。

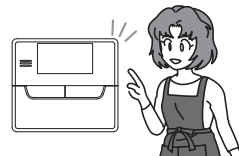


注意
操作カバーは閉じておく てください。 ショート・感電する ことがあります。

4. 台所リモコンでヒートポンプユニットの空気抜き運転をする（→10ページ）

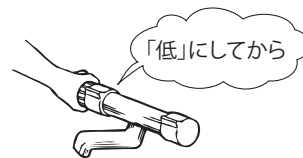
5. 台所リモコンで給湯機の設定をする

- ① 日時を合わせる（→11ページ）
- ② 沸き上げ設定を設定する（→14ページ）



6. お湯を使う

お湯は翌朝から使用できます。やけど防止のため、湯水混合栓の湯温調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開きお湯を使用します。

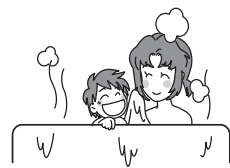
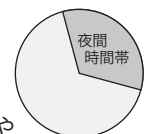


入浴時のお願い

入浴は、できるだけ夜間時間帯（リモコンの沸き上げ中表示（→7ページ）が表示されているとき）を避けて連続して行なうようにしてください。

夜間時間帯にお湯を使うと、翌日の湯温が低くなり、お湯がたりなくなることがあります。

夜間時間帯は、地域や電力契約内容によって異なります。

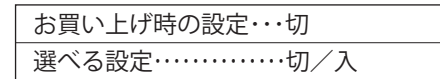


空気抜き運転をする

ヒートポンプユニットの内部に溜まっている空気を抜きます。
初めてご使用になるときや、一旦貯湯ユニットの水を抜いて再び満水にしたときに使用します。

<設定方法>

- 1 通常時の表示のときに「おしえてナビ」と「設定」を同時に5秒以上押す。



台所リモコン



<解除方法>

- 2 「エア抜き中」表示中に「設定」を押す。



※画面が通常時の表示に戻ります。

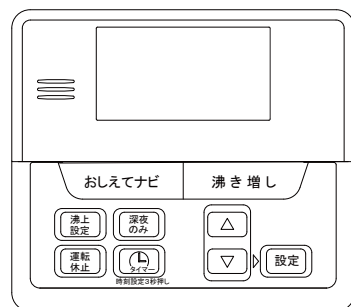
お知らせ

- 空気抜き運転中は台所リモコンの通常時の表示に「エア抜き中」が点灯します。
- 空気抜き運転は約10分動作し、自動的に停止します。
- 沸き上げ中に空気抜き運転を開始すると、空気抜き運転を終了してから、沸き上げを開始します。
- 空気抜き運転中は「設定」スイッチ以外の操作を受け付けません。

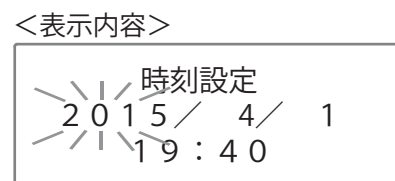
日時を合わせる

給湯機のお湯を沸かすために時刻を合わせます。
時刻を設定しないと、沸き上げできない場合があります。
また、時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。

台所リモコン



1 通常時の表示のときに
「**タイマー**」を3秒以上押す。



2 ▲ ▼ で「年」・「月」・「日」・
「時」・「分」を合わせ

それぞれ合わせたあとに

「**設定**」を押す。

※点滅している項目それぞれを合わせたあとに、
設定スイッチを押さなければ、次へ進みません。
※「分」を合わせ設定スイッチを押すと設定を完了し、もとの画面に戻ります。

お願い

- 時計の精度は、月差で約1分間です。
現在時刻が正しくないときは、時刻を合わせ直してください。
- 長時間にわたり、停電や電源を「OFF」にしていた場合は、表示部に「00:00」が点滅することがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。

お知らせ

- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- 日時設定中に10秒以上スイッチが操作されな
いときは通常時の表示に戻ります。
- 日時設定中は「▲」・「▼」・「設定」スイッチ
以外の操作を受け付けません。



お湯をたくさん使う(沸き増し)

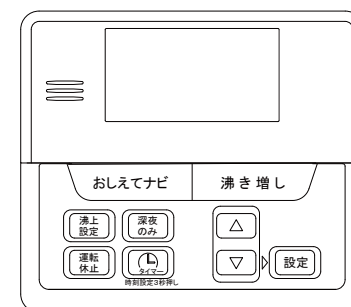
沸き増しとは、急な来客などで普段以上にお湯を使うようなときに、給湯機内のお湯を沸き上げ、湯切れを防止する機能です。

お知らせ ●深夜時間以外で沸き増しを行なうと、電気料金が割高になります。

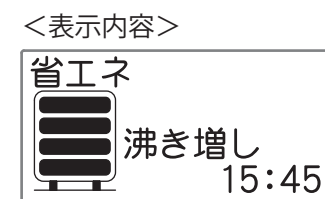
沸き増しを設定する

お買い上げ時の設定……切
設定できるモード……入/切

台所リモコン



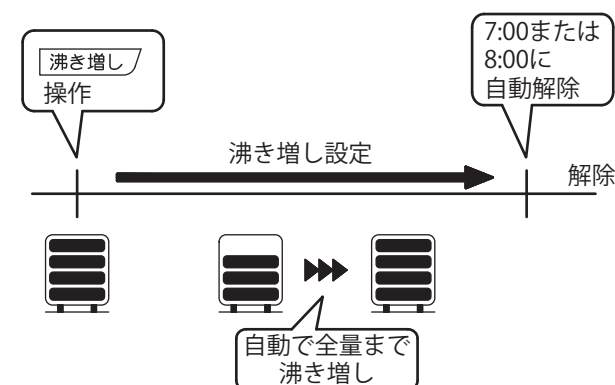
<設定方法>
1 通常時の表示のときに
「**沸き増し**」を押す。



<解除方法>
1 通常時の表示のときに
「**沸き増し**」を押す。

- お知らせ**
- 沸き増し設定中は、台所リモコンの表示部に「沸き増し」が表示されます。
 - 沸き上げ温度は、沸き上げ設定の温度になります。
 - 残湯表示がすべて点灯しているときは、沸き増し設定を受け付けますが、沸き増し運転は行ないません。
 - 「満タン」設定中は「沸き増し」を受け付けません。
 - 深夜時間帯終了時間（7:00または8:00）になると解除されます。

沸き増し動作



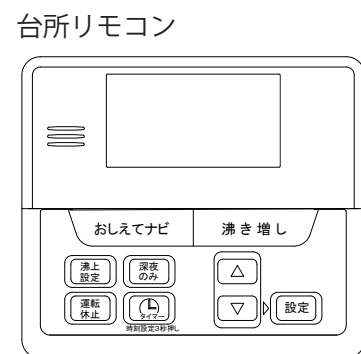
最低貯湯量を設定する(自動沸き増し)

最低貯湯量設定とは、急な来客などで普段以上にお湯を使ってしまった場合などに、湯切れを防止するために貯湯タンクに最低でも残したいお湯を設定しておく機能です。

お知らせ ●深夜時間以外で沸き増しを行なうと、電気料金が割高になります。

最低貯湯量を設定する

お買い上げ時の設定……50L
設定できるモード……50L/100L/150L/200L



1 通常時の表示のときに「沸上設定」を5秒以上押す。

<表示内容>
最低貯湯量 → 50L
100L
150L
200L

2 「沸上設定」または▲▼で設定湯量を選び

<表示内容>
最低貯湯量 → 100L
50L
150L
200L

「設定」を押す。

※設定スイッチを押すと設定を完了し、もとの画面に戻ります。

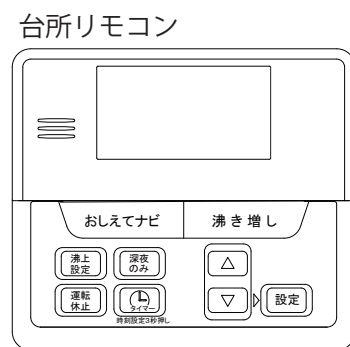
- お知らせ**
- 変更中に10秒以上スイッチを操作しないと点灯している項目が設定され、元の画面に戻ります。
 - 最低貯湯量機能はお湯切れ防止機能ですが、短時間でたくさんお湯を使用された場合は、お湯切れすることがあります。
 - 電源投入後1日間は最低貯湯量による沸き増しを行ないません。
 - 残湯量は48℃のお湯の量を示しています。

設定量	動作内容
50L	残湯量が約50Lを下回ると沸き増しします。
100L	残湯量が約100Lを下回ると沸き増しします。
150L	残湯量が約150Lを下回ると沸き増しします。
200L	残湯量が約200Lを下回ると沸き増しします。

給湯機の沸き上げ設定を設定する

給湯機が夜間に沸き上げを行なうモードを設定します。「省エネ」モードのご使用をおすすめします。

お買い上げ時の設定……省エネ
設定できるモード……省エネ/おまかせ/多め/満タン



通常時の表示のときに

1 「沸上設定」を押す。

<表示内容>

沸上設定 → おまかせ
多め
省エネ
満タン

2 「沸上設定」または▲▼で沸き上げ設定

を選び

<表示内容>

沸上設定 → おまかせ
多め
省エネ
満タン

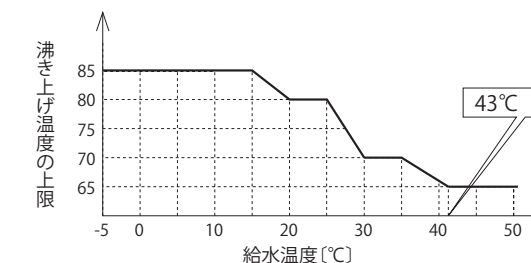
「設定」を押す。

※設定スイッチを押すと設定を完了し、もとの画面に戻ります。

- お願い**
- お湯が足りなくなったときは、沸き増しをご利用ください。
 - 「省エネ」設定で頻繁にお湯が足りなくなるときは、沸き上げ設定を「おまかせ」または「多め」に設定してください。

沸き上げ設定	沸き上げ温度目標	動作内容
省エネ(推奨)	約65℃～約75℃*	過去7日分のお湯の使用量を学習し、最も省エネとなるように沸き上げ温度と湯量を決定し、湯沸かしを行ないません。(日々のお湯の使用量が大きく変動するときは、お湯が不足することがあるので最低貯湯量(→13ページ)を設定することをお勧めします。)
おまかせ	約65℃～約85℃*	過去7日分のお湯の使用量を学習し、「省エネ」よりも多めの湯量を確保するように湯沸かしを行います。
多め	約85℃*	季節に応じて、最高の沸き上げ温度で全量お湯を沸かします。
満タン	約85℃*	季節に応じて、最高の沸き上げ温度で全量お湯を沸かします。設定から1週間経過すると自動で「おまかせ」に切り替わります。

※ヒートポンプの性能により、夏場など給水温度が高いときは右図のグラフのように給水温度に応じて沸き上げ温度の上限値が制限されます。



- お知らせ**
- タンク内の湯温は時間の経過とともに少しずつ(1時間に約0.5℃～1℃)低下しますので、お湯を使用していないときでも残湯量表示が減ることがあります。
 - 「省エネ」・「おまかせ」設定の場合、設置日から1週間ほどは、学習期間のため、その後の動作とは一部異なる場合があります。

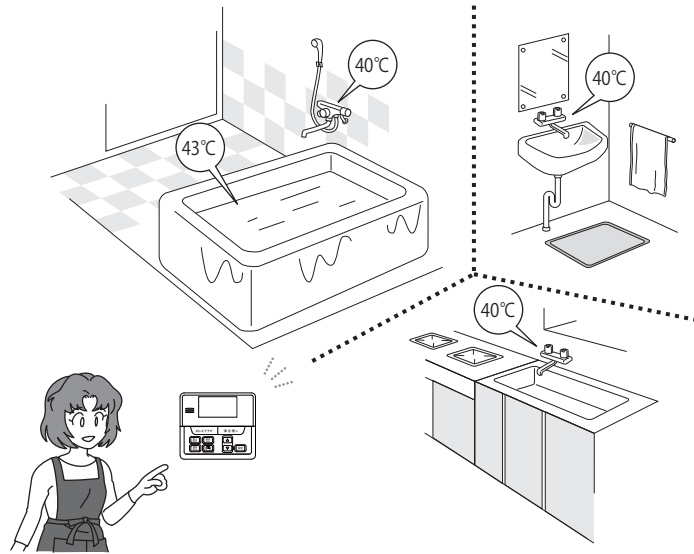
給湯温度を設定する

台所、洗面所、シャワーなどの給湯温度（最高温度）をまとめて設定できます。

お買い上げ時の設定…45℃
設定できる温度………℃（水） / 35℃～50℃（1℃刻み） / 60℃

警告

- 給湯温度の変更は、他の蛇口の使用状況を確認してから行なう（やけどの原因）
- 浴室でシャワーを使用しているときは、給湯温度の変更をしない（やけどの原因）



お願い

- サーモスタット付湯水混合栓の場合はリモコンの給湯温度の設定を使用するお湯の温度より約10℃高く設定してください。



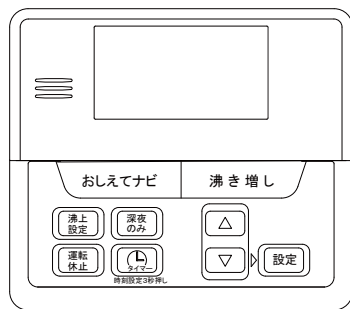
例) 40℃で使用する場合は50℃に設定します。

お知らせ

- 使用する蛇口によっては、給湯量が少なくなることがあります。その場合は給湯温度の設定を60℃にしてご使用ください。

1. 台所リモコンで給湯温度を設定する。

台所リモコン



1 ▲ ▼ を押して温度を設定する。

お知らせ

- 給湯温度を50℃または60℃に設定した場合、台所リモコンの「給湯」の表示が「高温」に切り替わります。
- 給湯温度の表示を確認し、お湯を使用してください。
- 給湯口から出るお湯は、配管材の放熱によって低くなることがあります。

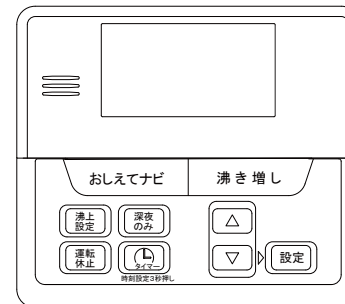


ピークカット設定をする

電力需要量の多い時間帯に節電をしたい場合、ご指定の時間帯において「最低貯湯量（自動沸き増し）」を停止することが出来ます。ピークカットを設定した場合でも「沸き増し」および深夜時間帯の通常の湯沸かしは動作します。

お買い上げ時の設定…切
ピークカット時刻設定初期値…13:00～16:00
選べる設定………切
(同時刻は選択できません)

台所リモコン



【設定方法】

通常時の表示のときに

1 運転休止 を5秒以上押す。

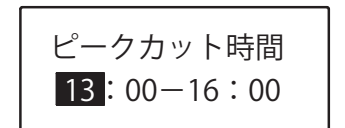
<表示内容>



2 ▲ ▼ で「ON」を選択し、設定 を押す。

3 ▲ ▼ で開始・終了時刻をあわせ

<表示内容>



それぞれあわせたあとに設定 を押す。

お知らせ

- ピークカット時間は30分単位で設定できます。
- ピークカット時間の開始と終了時間は同一時間に設定できません。同一時間で、終了時間の分を設定した場合、再度開始時間からの設定に戻ります。
- ピークカット設定またはピークカット時間設定中は、「▲」・「▼」・「設定」以外のボタン操作は受け付けません。
- ピークカット設定またはピークカット時間設定中にスイッチが60秒以上押されないときは、設定変更せずに元の画面に戻ります。

※点滅している項目それぞれを合わせたあとに、設定スイッチを押さなければ、次へ進みません。
※終了時刻の「分」を合わせ設定スイッチを押すと設定を完了し、もとの画面に戻ります。

【解除方法】

通常時の表示のときに

1 運転休止 を5秒以上押す。

2 ▲ ▼ で「OFF」を選択し、設定 を押す。

※設定スイッチを押すと設定を完了し、もとの画面に戻ります。

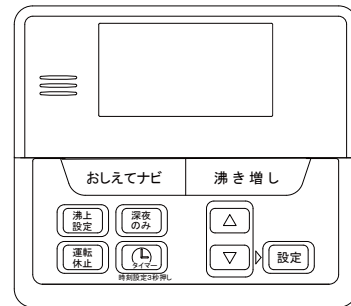


深夜のみを設定する

深夜のみ設定とは、沸き上げを行なう時間を深夜時間帯のみとし、昼間時間帯には自動的な沸き上げ（最低貯湯量沸き上げ）を行なわない設定です。

お買い上げ時の設定……通常
設定できるモード……深夜のみ/通常

台所リモコン



【設定方法】

1 通常時の表示（「深夜のみ」表示なし）のときに



<表示内容>



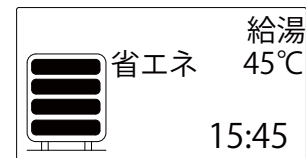
※設定されたときは「深夜のみ」が表示されます。

【解除方法】

1 通常時の表示（「深夜のみ」表示あり）のときに



<表示内容>



※解除されたときは「深夜のみ」表示が消えます。

お知らせ

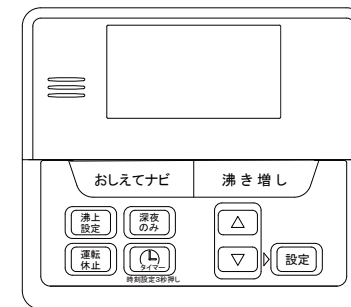
- 「満タン」モードのときは「深夜のみ」を設定することはできません。
- 電源投入後1日間は最低貯湯量による沸き上げを行ないません。

設定内容	深夜のみ設定	設定内容
通常モード (初期設定)	解除	お客さまが設定された最低貯湯量（→13ページ）を下回ると自動で沸き上げを行ないます。 深夜のみ設定に比べ、昼間時間帯でも沸き増しを行なうため、電気代が高めになることがあります。
深夜のみ設定	設定	電気代の安い深夜時間帯のみ沸き上げる設定です。ただし深夜時間帯に沸き上げた湯量以上のお湯を昼間に使用するとお湯が無くなり、お湯が使えなくなります。

タイマーをつかう

台所リモコンでタイマーを使うことができます。
タイマー設定時間は、1分単位で0分から99分まで設定できます。

台所リモコン



【設定方法】

1 通常時の表示のときに



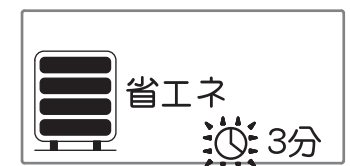
<表示内容>



2 ▲ ▼ でタイマー時間を設定して



<表示内容>



※タイマー起動中は ⌚ マークが点滅します。

【解除方法】

1 ⌚ を押します。



※ ⌚ マークが消灯し、時計表示が点灯します。

お知らせ

- 設定時間が過ぎるとブザーでお知らせします。
- 2回目以降は前回設定された時間が表示されます。
- 設定中に10秒以上スイッチを操作しないとタイマーを起動せずに元の画面に戻ります。

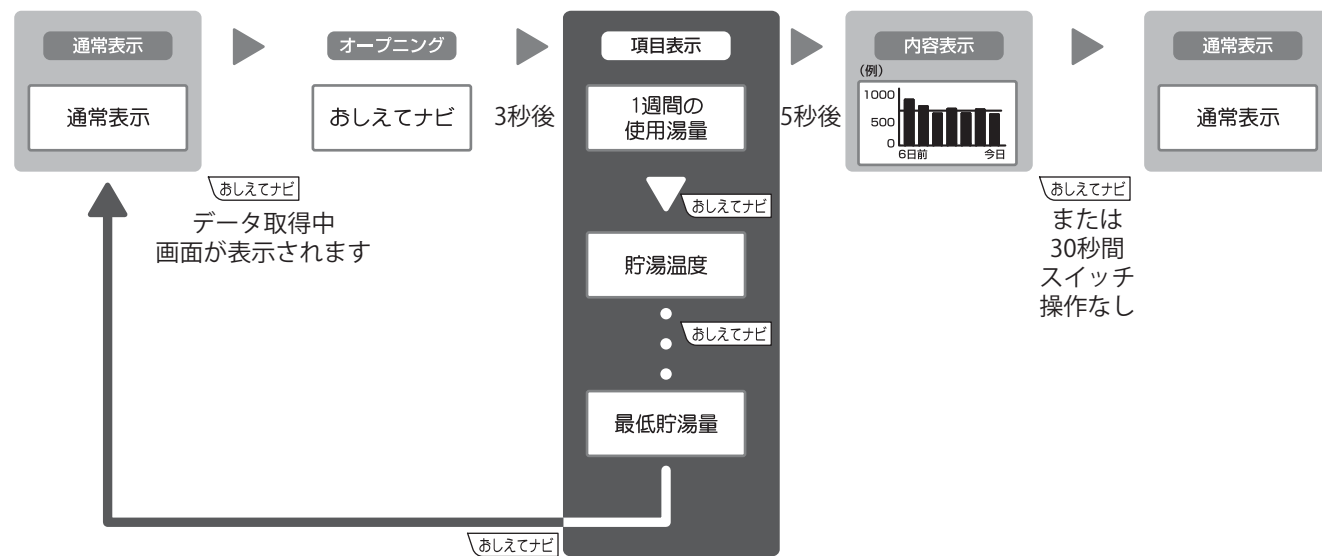
おしえてナビ

1週間の使用湯量や貯湯温度等の情報を表示します。
(表示される内容は目安です)

表示項目一覧

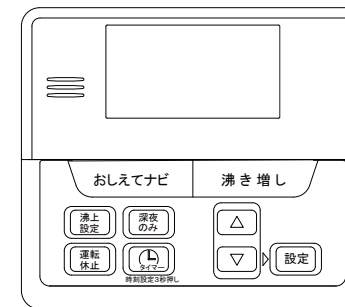
表示	内容
1週間の使用湯量	過去1週間分の使用したお湯の目安を表示します。 使用湯量は43℃に換算した値です。
貯湯温度	現在の貯湯タンク上部のお湯の温度を表示します。
沸き上げ診断	「深夜のみ」モードでお湯をまかなえるか診断します。 過去1週間の使用状況から、「深夜のみ」モードに変更可能かどうかの診断をします。 設定変更後は、正常な診断に1週間程度かかります。
サービス店TEL	故障時の連絡先の電話番号を表示します。
最低貯湯量設定	最低貯湯量の設定値を表示します。

操作概要



おしえてナビ (操作方法)

台所リモコン



【設定方法】

1 通常時の表示のときに
「おしえてナビ」を押す。



※画面に「データ取得中」が表示されます。
※「おしえてナビ」表示から3秒経過後、自動的に「1週間の使用量」項目が表示されます。

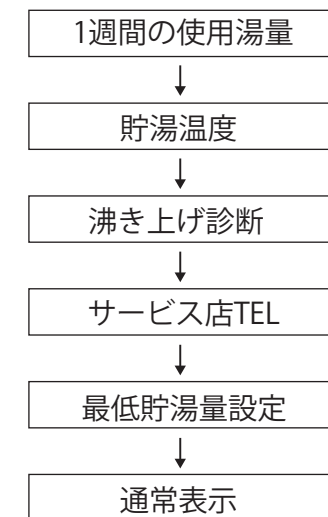
<表示内容>



2 「おしえてナビ」を押し、表示したい項目にあわせる。



押すごとに、表示項目が切り替わります。



※項目選択から5秒経過後、自動的に内容表示に切り替わります。

<表示内容>



【解除方法】

1 内容表示のときに
「おしえてナビ」を押す。



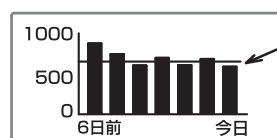
※「おしえてナビ」を終了し、通常画面へもどります。

お知らせ ●内容表示の表示時間は約30秒です。
30秒経過後通常表示に戻ります。

おしえてナビ (表示内容)

1週間の使用湯量

過去1週間分の使用したお湯の目安を表示します。



使用量平均値

- 使用量 (棒グラフ) は43℃換算して表示されます。
- 「今日」分は前日の23時から操作時までの使用湯量です。

貯湯温度

貯湯タンク上部のお湯の温度を表示します。

貯湯温度
80℃

沸き上げ診断

「深夜のみ」設定でお湯をまかなえるか診断します。

深夜のみでもOK

- 「深夜のみ」設定でお湯をまかなえると診断した場合表示します。

現状を継続

- 通常モード設定時
診断結果により、「深夜のみ」モードではお湯が不足すると診断した場合に表示します。
- 深夜のみ設定時
沸き増しを操作された場合に表示します。手動での沸き増しで湯切れを防止されたい場合は現状を継続してください。

サービス店TEL

故障時の連絡先の電話番号を表示します。

XXXX-XXX-XXX

- アフターサービスに関する連絡先の電話番号が確認できます。

最低貯湯量設定

お客様が設定されている最低貯湯量を表示します。

最低貯湯量
100L

- 最低貯湯量機能の詳細は13ページを参照ください。

ある期間給湯機の運転を休止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、給湯機の運転を休止させることができます。

お買い上げ時の設定……0日

設定できる範囲……0日～14日(1日刻み)、連続

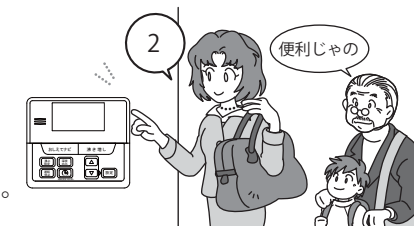
運転休止日数のきめ方

例) 10月1日に出発し、10月4日に帰宅する3泊4日の旅行の場合

3泊4日の旅行

出発日 (10月1日) に休止日数3-1=2を設定

帰宅日 (10月4日) には、朝からお湯が使用できます。



<設定方法>

1 通常時の表示のときに
運転休止を押す。



※時刻表示が消灯し、運転休止設定画面になります。

<表示内容>



2 運転休止 または ▲ ▼ を押し、期間を設定します。



を設定します。

3 設定を押す。



<設定方法>

1 運転休止を押す。



※運転休止日数が消灯し、時刻表示が点灯します。

お知らせ

- 表示されている運転休止日数は深夜電力時間帯終了時に1日ずつ減ります。
- 設定された運転休止日数の表示がなくなると運転を再開します。
- 変更中にスイッチが10秒以上操作されない場合は、表示されている日数で決定されます。
- 運転休止日数を設定していても凍結防止運転 (→24ページ) が動作することがあります。
- 運転休止設定中は、沸き増しを受け付けません。



長期間使用しないとき

1か月以上、給湯機を使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。

操作の前に

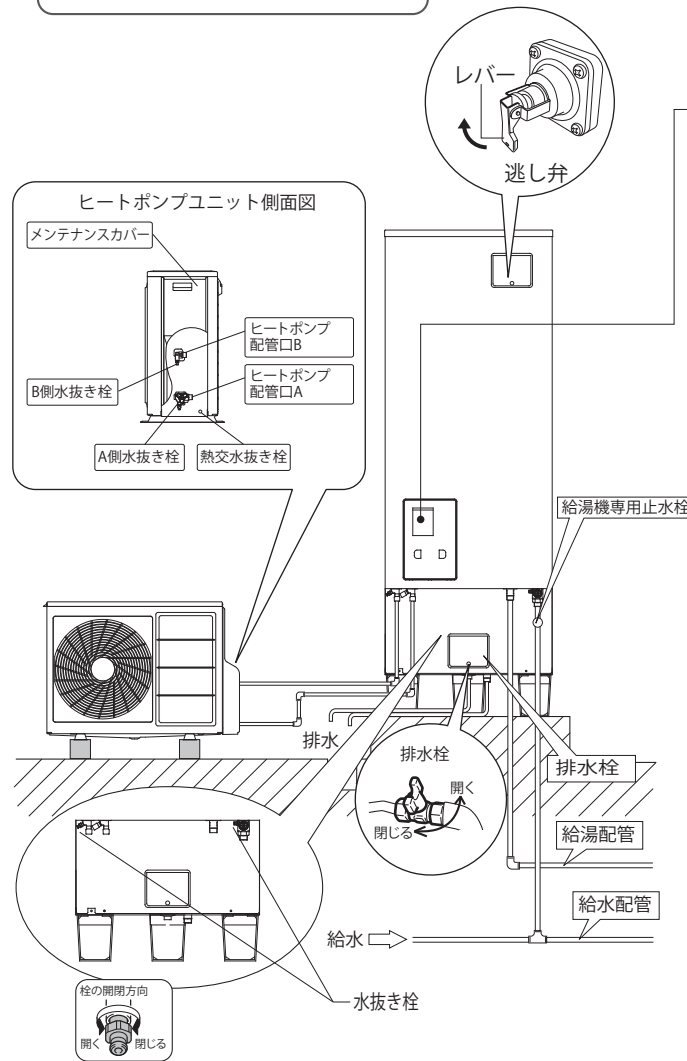
台所リモコンの通常時の表示に沸き上げ中表示または「エア抜き中」が表示されていないことを確認してから操作してください。

沸き上げ中表示が表示されているときは、運転休止設定（→22ページ）を設定してください。

「エア抜き中」が表示されているときは、空気抜き運転（→10ページ）を停止してください。

⚠ 注意

1か月以上使用しないときは、タンクの水を抜いてください。水質が変化することがあります。



- 1 タンク内のお湯を水にするために湯水混合栓を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す
(湯水混合栓をお湯側にして開いてください)
(お湯を出すときは、火傷に注意してください)
(お湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください)
- 2 本体の漏電しゃ断器のレバーを「OFF」にする
- 3 給湯機専用止水栓を閉じる
(貯湯ユニットへの給水を止めます)
- 4 逃し弁のレバーを上げる
(貯湯ユニットに空気を取り入れます)
- 5 排水栓を開く
(貯湯ユニットの水を抜きます)
(逃し弁のレバーは再び使用するときまで下げないでください)
- 6 貯湯ユニットの水抜き栓(2か所)を開く
(貯湯ユニット正面の下部についている配管の水抜き栓を開きます)
- 7 ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーをはずす
- 8 ヒートポンプユニットの熱交水抜き栓を開く
(ヒートポンプユニットの水を抜きます)
- 9 ヒートポンプユニットのA側およびB側水抜き栓を開く
(ヒートポンプユニットの水を抜きます)



お願い

- 排水直後に逃し弁のレバーを下げないでください。タンクが破損することがあります。
- 水を抜くときはあついお湯がでることがあります。やけどに注意し、ゆっくりと栓を開いてください。
- 排水が終わったら、すべての栓を閉じてください。

再び使用するとき…

すべての栓を閉じていることを確認し、準備（→9ページ）の手順を行なってください。

凍結防止をする

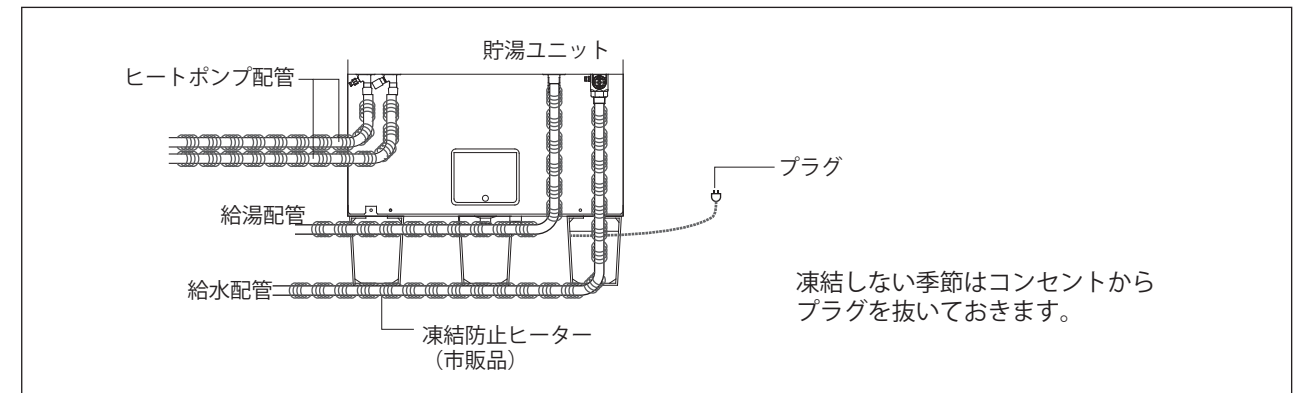
本体周辺の温度が0℃以下になると配管が凍結し、本体や配管が凍結することがあります。凍結のおそれがある場合は、必ず凍結防止ヒーターによる凍結防止を行なってください。

凍結防止ヒーター(市販品)を使う

⚠ 注意

凍結防止対策の確認をする
凍結するとタンクや配管が破裂して、水漏れでやけどをすることがあります。

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。
使用するときには、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。



お願い

- 配管が凍結した場合は、気温の上昇により自然解凍されるまでお待ちください。
- 配管の破裂・水漏れがある場合は給湯機専用止水栓を閉じて販売店(据付工事店)へご連絡ください。

停電したとき

この給湯機にはメモリ機能が内蔵されています。停電になった場合でも、時刻や設定値を記憶しています。

お願い

- 場合によっては時刻がずれたり、設定値が変わることがありますので、停電復帰後、必ず時刻や設定が変わっていないか確認し、変わっている場合は再度設定してください。（→11ページ）
- 停電中は給湯温度をコントロールできないため、蛇口よりお湯が出ません。（水が出る場合があります）

あら停電?!



点検とお手入れ

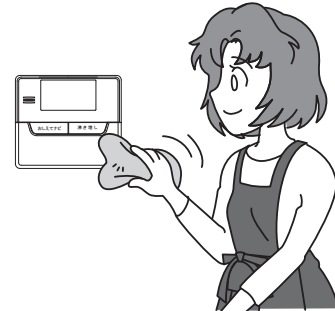
日常のお手入れ：台所リモコンのお手入れ

乾いた布で拭くか、台所用洗剤をうすめて布に含ませて拭いてください。

お願い



- ベンジンやシンナーなどの溶剤で拭くと変形や変色をおこすことがあります。
- 台所リモコンには、水や汚水をかけないでください。
- 台所リモコン内部には電気部品が入っているので、絶対にぬらさないでください。



年に2～3回：漏電しゃ断器の動作点検

漏電しゃ断器の機能を十分に働かせるために、年に2～3回は動作テストを行なって、正しく動作することを確認してください。

操作の前に

台所リモコンの通常時の表示に沸き上げ中表示または「エア抜き中」が表示されていないことを確認してから操作してください。

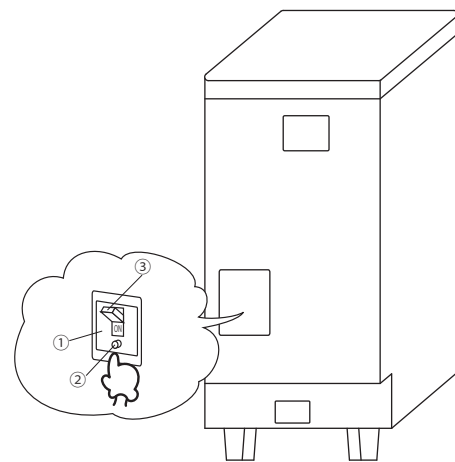
沸き上げ中表示が表示されているときは、運転休止設定（→22ページ）を設定してください。
「エア抜き中」が表示されているときは、空気抜き運転（→10ページ）を停止してください。

手順は次の通りです。

- (1) 貯湯ユニット正面の操作カバーを開けてください。
- (2) 左側にある漏電しゃ断器①の、テストボタン②を押してください。
漏電しゃ断器のつまみ③が、「ON」から「OFF」に切り換われば正常です。
- (3) つまみ③を「ON」に戻してください。
- (4) 操作カバーを閉めてください。

警告

漏電しゃ断器の動作を確認する（感電の原因）



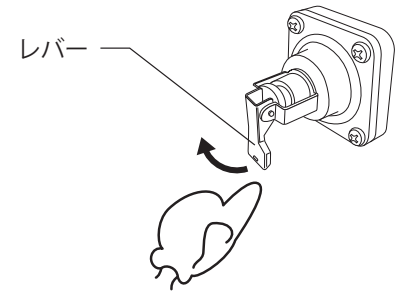
年に2～3回：逃し弁の点検（→5ページ）

水漏れ点検と動作点検を行ないます。

水漏れ点検

沸き上げをしていないときに、排水口から水（お湯）が出ていないかを確認する

水（お湯）が出ていなければ正常です。
水が出ている場合は、レバーを数回、上下に動かします。それでも、水が止まらない場合は、給湯機専用止水栓を閉じ、配線用しゃ断器または漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にして販売店（据付工事店）にご連絡ください。



警告

逃し弁点検時は、逃し弁排水口に手を触れない（やけどの原因）

注意

逃し弁の点検をするタンクや配管が破裂してやけどの原因になります。

動作点検

長い間で使用になりますと、水アカ、ゴミ等が弁の部分に付着し、弁が閉まりきれずに水漏れすることがありますので、定期的洗い流してください。

手順は、次の通りです。

- (1) レバーを2～3度上げ下げして、水またはお湯を流してください。
- (2) レバーを元に戻して、弁を閉めてください。
- (3) 水またはお湯が止まっているのを確認してください。

年に2～3回：タンクのお手入れ（→5ページ・6ページ）

長い間で使用になりますと、タンクの底に水アカや沈殿物がたまります。常にきれいなお湯をご使用いただくために、タンクのお手入れをしてください。

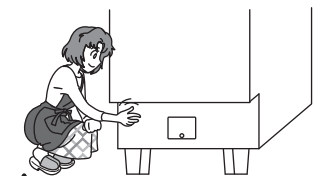
操作の前に

台所リモコンの通常時の表示に沸き上げ中表示または「エア抜中」が表示されていないことを確認してから操作してください。

沸き上げ中表示が表示されているときは、運転休止設定（→22ページ）を設定してください。
「エア抜中」が表示されているときは、空気抜き運転（→10ページ）を停止してください。

手順は、次の通りです。

- (1) 給湯機正面にある操作カバーを開けて、漏電しゃ断器を「OFF」にしてください。
- (2) 給湯機専用止水栓を閉めてください。
- (3) 逃し弁のレバーを引き上げてから、排水栓を開けてください。
（熱湯が出てくる場合がありますので、ご注意ください）
- (4) 1～2分たったら排水栓を閉めて、給湯機専用止水栓を開けてください。
- (5) しばらくして逃し弁からお湯が出始めたら、レバーを元に戻してください。
- (6) 漏電しゃ断器を「ON」にして、操作カバーを閉めてください。



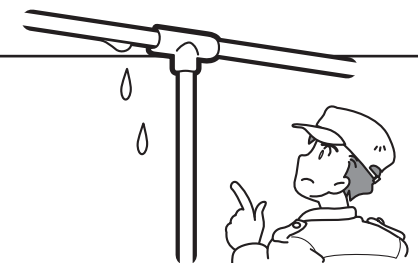
警告

排水時はお湯に手を触れない（やけどの原因）

配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。
水漏れが生じている場合は、販売店（据付工事店）にご連絡ください。

特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行なってください。
破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。



お願い



- 本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、給湯機専用止水栓を閉じ、配線用しゃ断器または漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にして販売店（据付工事店）へご連絡ください。

注意

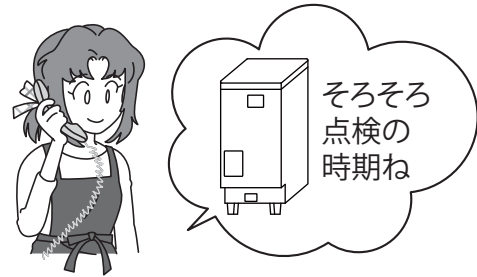
配管を点検するマンションなど、中、高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

定期点検のおすすめ（有料）

ユノカエコキュートを長期にわたり安心して快適にご使用いただくために、3～4年に一度定期点検（有料）を行なってください。

- 定期的に交換が必要な部品や設置条件や使用条件、特殊環境によって部品交換が必要なものは、有料で交換します。
- お申し込みは、販売店（据付工事店）に申し出てください。

定期点検の主な内容



項目	内容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）などの点検
清掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など） 給水配管口のフィルターの清掃

消耗部品の交換

下記の部品は消耗品です。交換の際は、当社純正部品をご指定ください。

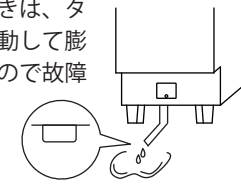
- 〈消耗部品〉 ●逃し弁 ●減圧弁 ●パッキン類 ●給湯混合弁 ●逆止弁

故障かなと思ったら

こんなときは故障ではありません

沸き上げ中に膨張水排水口から水（湯）が出ている

沸き上げ中表示が点灯しているときは、タンク内の水が膨張し、逃し弁が作動して膨張水排水口より徐々に水が出ますので故障ではありません。



台所リモコンの時刻表示が 00:00 で点滅している

11ページの「日時を合わせる」に従って現在時刻を設定してください。



深夜通電時間になってもすぐに沸き上げ中表示が表示されない

通電制御型給湯機は、温度の低下を少なくするために深夜の通電時間になってもすぐ通電しないときがあります。深夜の通電時間帯が終了する翌朝に合わせて沸き上げを完了させます。ただし、昼間の残湯がある時は、通電終了時間よりも早く沸き上がります。

設定湯温まで沸き上がらない

以下のことを行なうと、設定温度まで沸き上がらない場合があります。

- ①台所リモコンに沸き上げ中表示が表示されているときにお湯を使用した場合
- ②夜間時間帯に沸き上げ湯温を上げた場合
- ③給水水温が13℃以下、残湯量0の場合

残湯量表示が少ない

沸き上げ設定を「省エネ」、「おまかせ」でご使用の場合は、必要な分しかお湯を沸かさないので、お湯の使用量が少なくなるとき（夏場など）に翌朝の残湯量表示が少ないことがあります。

ヒートポンプユニットが運転と停止を繰り返す

気温が低いとき、熱交換器の除霜を行なうためファンの運転と停止を繰り返します。
気温が低いとき、ヒートポンプ配管とヒートポンプ内部配管の凍結を防止するために、運転と停止を繰り返します。

浴槽の水が青く見える

地域の水質により、浴槽のお湯が青く見えることがあります。これは、配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンとせっけんなどに含まれる脂肪酸が反応して生成されたもので人体に影響はありません。

沸き上げ運転中にヒートポンプユニットの下部から水がでる

ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水がでます。

沸き上げ運転中にヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる

冬期運転中は、蒸発器に霜がつくことがあります。



昼間にヒートポンプユニットが動作する停止日数を設定しているのにヒートポンプユニットが動作する

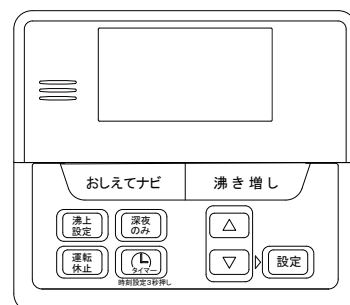
外気温が低くなったとき凍結防止のため、ヒートポンプユニットが動作することがあります。

エラー表示

下記のエラー表示の場合は異常です。
すみやかに販売店（据付工事店）へご連絡ください。

表示	異常内容	処置
T01 T24	貯湯ユニット関連の異常です	エラー表示を解除して、再度運転してください。 再度エラーコードを表示する場合は、エラーの表示内容を控えていただき、販売店（据付工事店）へご連絡ください。
H01 H32	ヒートポンプユニット関連の異常です	エラー表示を解除して、再度運転してください。 再度エラーコードを表示する場合は、エラーの表示内容を控えていただき、販売店（据付工事店）へご連絡ください。

エラー解除



1 エラーコード表示中に
「タイマー」設定を同時に3秒以上押す。



※エラーコードが一旦解除されます。

故障かなと思ったら

販売店（据付工事店）に修理をご依頼される前に、起こっている現象別に次のようなことを調べてみてください。

給湯機は正常に動いていても、何か別の原因があって、故障しているように思える場合があります。調べてみても原因がわからない場合や、下の表の通りに対応されても直らない場合は、販売店（据付工事店）に、点検・修理をご依頼ください。

こんなとき	調べること	処置方法
<p>お湯が沸かない (給湯栓からは水が出てくる)</p>	台所リモコンは接続されていますか (液晶画面が表示していますか)	販売店（据付工事店）へご連絡ください。
	台所リモコンで運転停止日数が設定されていませんか (停止中が表示されていませんか)	「ある期間給湯機の運転を休止する」の項を参照して運転停止日数を解除してください。(→22ページ)
	台所リモコンの時刻表示が点滅していませんか	点滅のままではお湯が沸きませんので、時刻を設定してください。(→11ページ)
	貯湯ユニット点検窓の中の漏電 しゃ断器が、「OFF」になっていませんか	漏電しゃ断器を「ON」にしてください。(→5ページ) ※もし、漏電しゃ断器が何度も切れるようなら、点検をご依頼ください。
	給湯機用の配線用しゃ断器が、「OFF」になっていませんか	給湯機用の配線用しゃ断器を「ON」にしてください。(→6ページ)
	<p>お湯が出ない (給湯栓からは水も出ない)</p>	給湯機用の湯水混合栓が閉まっていますか
タンクは満水ですか		タンクを満水にしてください。(→9ページ)
給湯機専用止水栓が閉じている		給湯機専用止水栓を開いてください。(→6ページ)
断水していませんか		断水中は、お湯が出ませんので断水が終わるまでお待ちください。
給水管が凍結していませんか		自然解凍するまでお待ちください。 配管の破裂や漏れがある場合は、販売店(据付工事店)へご連絡ください。

故障かなと思ったら



こんなとき

調べること

処置方法

湯温が低い



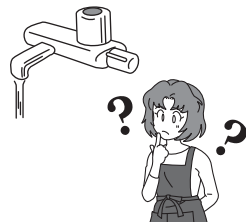
沸き上げ設定が「省エネ」になっていませんか

「省エネ」運転にすると、お湯がいつも余る場合は、設定温度を順次下げていきます。熱いお湯が必要な場合は、沸き上げ設定を「多め」に設定してください。(→14ページ)

深夜時間帯中に、お湯を使用されませんでしたか

そのような場合は、沸き上がらないことがあります。深夜時間帯中には、なるべくお湯をご使用にならないでください。

お湯が足りない



お湯の使用量が、いつもより多くありませんか

給湯機は貯湯量が決まっていますので、使い果たすと水しかできません。沸き上げ設定を「多め」に変更してください。(→14ページ)

毎日の使用湯量が大きくばらつくのに、沸き上げ設定が「省エネ」または「おまかせ」に設定されていませんか

沸き上げ設定を「多め」に変更してください。(→14ページ)

ピークカット設定をされていますか

ピークカット中は「自動沸き増し」は動作しません。ピークカット設定を「切」またはピークカット時刻を変更してください。(→16ページ)

お湯の出が悪い



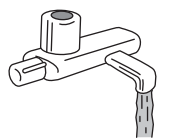
給水配管口に内蔵したストレーナーが、つまっていますか

清掃は、販売店(据付工事店)にご依頼ください。

他の場所でも同時に、お湯を使っていますか

何か所も同時に使うと、1か所当たりの流量は少なくなります。お湯の出を良くしたいときは、他の蛇口を止めてください。
※お湯の流量は、機器の設置場所や配管の口径、器具の種類等により、ほぼ決まってしまう。1か所だけ出しても流量が少ない場合は、次の機会に工事をやり直されることをおすすめします。

汚れたお湯が出る



断水や水道工事はありませんでしたか

水をしばらく流して、きれいになってから、ご使用ください。

定期的なタンクのお手入れは行なわれていますか

「タンクのお手入れ」の項を参照して、タンクのお手入れを行なってください。(→26ページ)

逃し弁からお湯がもれる (沸き上げ中にもれるのは、正常です)

弁にゴミか何かはさまっていますか

「逃し弁の点検」の項を参照して、逃し弁の洗浄をしてください。(→26ページ)

仕様

名 称		自然冷媒CO ₂ 家庭用ヒートポンプ給湯機 給湯専用タイプ		
シ ス テ ム	品 番	YU37NJH-SE01	YU46NJH-SE02	
	適 用 電 力 制 度	「季時別電灯/時間帯別電灯/ピークシフト電灯」対応通電制御型		
	定 格 電 圧	単相200V (50/60Hz)		
	最 大 電 流	15A	16A	
	沸 き 上 げ 温 度	約65℃～約85℃		
	年 間 給 湯 効 率 (JIS) ※1	3.0	3.0	
	区 分 名	19	19	
	給 湯 温 度	水(―℃)・35℃～50℃(1℃刻み)・60℃		
	安 全 装 置	漏電しゃ断器、缶体保護弁		
	使 用 水 質	水道水(井戸水、温泉水は使用不可)		
仕 向 地 域	次世代省エネ基準IV地域以南 ※2			
夜 間 消 費 電 力 量 比 率 ※3	90			
貯 湯 ユ ニ ッ ト	貯 湯 ユ ニ ッ ト 品 番	YTS37NB15	YTS46NB15	
	タ ン ク 容 量	370L	460L	
	定 格 消 費 電 力 (制 御 用)	5W		
	タ ン ク 材 質	ステンレス鋼板		
	配 管 口 径	給水配管口・給湯配管口・排水配管口:R3/4、ヒートポンプ配管口:R1/2		
	最 高 使 用 圧 力	190kPa (減圧弁設定圧力:170kPa)		
	外 形 寸 法	幅	650mm	650mm
		奥 行 高 さ	708mm (操作力カバー部+15mm)	708mm (操作力カバー部+15mm)
	質 量 (満 水 時)	64kg (434kg)	74kg (534kg)	
	据 付 場 所	屋内・屋外兼用型		
付 属 部 品	上部振れ止め金具			
ヒ ー ト ポ ン プ ユ ニ ッ ト	ヒ ー ト ポ ン プ ユ ニ ッ ト 品 番	YHD45N13	YHD60N13	
	中 間 期 標 準 加 熱 能 力 / 消 費 電 力 ※5 ※6	4.5kW / 1.025kW	6.0kW / 1.365kW	
	中 間 期 標 準 運 転 電 流	6.10A	7.30A	
	冬 期 高 温 加 熱 能 力 / 消 費 電 力 ※4 ※5 ※7	4.5kW / 1.500kW	6.0kW / 2.000kW	
	設 置 可 能 最 低 外 気 温 度	-10℃		
	配 管 口 径	ヒートポンプ配管口:R1/2		
	外 形 寸 法	幅	820mm (カバー部+80mm)	820mm (カバー部+80mm)
		奥 行 高 さ	300mm 650mm	300mm 650mm
	質 量	44kg	48kg	
	運 転 音 (中 間 期 ※6 / 冬 期 ※7) ※8	38 / 43dB	40 / 45dB	
冷 媒 名 (封 入 量)	CO ₂ (0.620 k g)	CO ₂ (0.835 k g)		
設 計 圧 力 (高 圧 / 低 圧)	14.0 / 8.5MPa			
据 付 場 所	屋外			
付 属 部 品	ドレンニップル			
台 所 リ モ コ ン	商品コード: TG0951 外形寸法: 123mm (縦) × 140mm (横) × 22mm (奥行)			

※1 年間給湯効率 (JIS) は、日本工業規格 JIS C 9220:2011 の評価に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したもので年間給湯効率 (JIS) として以下の式で求められます。

● 年間給湯効率 (JIS) = 1年間に使用する給湯に係る熱量 ÷ 1年間に必要な消費電力量

地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。

算出条件: 沸き上げ設定「省エネ」、深夜のみ設定「通常」、最低貯湯量設定「50L」

● 着霜期高温条件: 外気温(乾球温度/湿球温度) 2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度85℃

● 給湯モード条件(冬期): 外気温(乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度69℃ (460Lタイプは沸き上げ温度65℃)

● 給湯モード条件(着霜期): 外気温(乾球温度/湿球温度) 2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度72℃ (460Lタイプは沸き上げ温度67℃)

※2 次世代省エネ基準IV地域: 主に関東、東海、北陸、近畿、中国、四国、九州北部など。

また、最低気温が-5℃を下回る地域では、機器の性能を十分に発揮できないことがあります。

※3 一定条件のもとにヒートポンプ給湯機を一日運転したときの総消費電力量に対する夜間消費電力量の比率

※4 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。

※5 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※6 作動条件: 外気温(乾球温度/湿球温度) 16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃

※7 作動条件: 外気温(乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度85℃

※8 運転音は JIS C 9220:2011 に準拠し、反射音の少ない無響室で測定した数値です。実際の据付状態では、反射音や周囲の騒音の影響により、この値より大きくなる場合があります。